



最新マンスリーecoニュース&トピックス

・最近のニュース

「エアコン89%、テレビ89%、冷蔵庫・冷凍庫74%、洗濯機84% 20年度家電4品目のリサイクル」 2009.06.02/環境省

実績家電製品協会と家電メーカー各社は、平成21年6月2日付けで20年度の家電4品目のリサイクル実績を公表した。20年度の4品目のリサイクル率は、エアコンで89%、テレビで89%、冷蔵庫・冷凍庫で74%、洗濯機で84%となり、「エアコン60%以上、テレビ55%以上、冷蔵庫・冷凍庫・洗濯機各50%以上(いずれも重量ベース)」という同法のリサイクル率基準値を、7年連続で達成した。

http://www.meti.go.jp/press/20090602003/20090602003.html

・最近のトピックス

「平成21年度「省エネ大賞」公募開始 本年度から拡大へ！」

2009.07.23/経済産業省

(財)省エネルギーセンターでは、省エネルギー性等に優れた民生用機器・システムを公募・表彰する平成21年度「省エネ大賞」の募集を開始した。応募締切は、「機器・システム部門」が8月31日、「人材部門」「組織部門」は9月28日となっている。応募案件は、各部門の審査委員会の評価を踏まえ、全体の委員会受賞者を決定し、毎年2月の省エネルギー月間に、表彰式を実施する予定。

http://www.meti.go.jp/press/20090723005/20090723005.htm

環境法改正情報

■家電リサイクル法

公布日:2009.06.12

法令番号:経済産業省、環境省告示第2号

件名:「特定家庭用機器廃棄物の収集及び運搬並びに再商品化等に関する基本方針の一部を改正する件」

最上位法令:特定家庭用機器再商品化法(平成10年法律第97号)

施行期日:2009.06.12

参考URL: http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=11236

改正のポイント

この改正は、毎年度、小売業者による排出家電の引取り・引渡し状況、製造業者等による再商品化等に関する支出の総額・内訳について報告を求めると、小売業者によるリユース・リサイクル仕分け基準の作成等、地方公共団体による廃棄物処理法違反に対する厳正な対応などの項目を追加したものである。

Ecobiz/ecolife エコbiz/エコライフ



ルミネなど3件が「カーボン・オフセット認証ラベル」を初めて取得 2009.07.24/環境省

環境省は、環境省のカーボン・オフセット第三者認証基準に基づく認証ラベルが、3案件で初めて認められたと発表した。環境省は、信頼性のあるカーボン・オフセットの取組を推進・普及するため、平成21年3月18日に「カーボン・オフセットの取組に対する第三者認証機関による認証基準(Ver.1.0)」を公表。この認証基準を受け、気候変動対策認証センター(事務局:社団法人海外環境協力センター)が、カーボン・オフセット認証制度を創設し、5月14日から案件募集を開始。6月24日に有識者によって構成されるカーボン・オフセット認証委員会が開催され、第1回締め切りまでに申請のあった4件から、今回の3件が認証された。今回認証され、ラベリングを受けるのは、株式会社ルミネの「株式会社ルミネ主要店舗社員等における通勤活動に対するカーボン・オフセット」、株式会社カウネットの「カウネットカタログセットのカーボン・オフセット」、株式会社フロンテッジの「Green image in Karuizawaにおけるカーボン・オフセット」の3案件。

ecoクリップ

アメリカ・地デジ化 古いテレビは捨てないで 2009.06.11/EPA

アメリカで6月12日から、テレビ放送が地上デジタル放送に完全に移行するのを受け、アメリカ環境保護庁(EPA)では、古いテレビを捨てずにリサイクルするよう呼びかけている。2008年には、米国内で廃棄されたテレビは2000万台以上に上り、銅や鉄などの天然資源を大切に作る大きなチャンスが失われた。テレビのリサイクルに関心のある消費者は、各地域の家庭向け有害廃棄物収集・リサイクル関係のプログラムに連絡すると、リサイクルのためのイベントなどについて情報を入手できるという。

営業に役立つ環境用語と豆知識

【カーボン・オフセット】

日常生活による二酸化炭素の排出を相殺するために植林や自然エネルギーの利用をしようというものである。2005年7月にイギリスのモーレイ大臣による飛行機旅行におけるカーボンオフセットを考えてみようという呼びかけをはじめ、イギリスのエアライン、プリティッシュ・エアウェイズが9月にカーボンオフセットが実施し始めた。つまり、航空機の運航にともなう二酸化炭素排出量を相殺するために、二酸化炭素の削減の対策費の一部を、航空機の搭乗者たちが自ら負担する仕組みである。日本でも最近カーボンオフセット募金をはじめ、1000円一口(3本のヒノキを1年間育てる)と5000円一口(16本のヒノキを1年間育てる)の2種類である。



今号は、当社のロゴマークの意味をお伝えします！
中央グリーンの球体は「地球」＝「大地」、外側のブルーの半円は「水」、白の半円(欠けていて見えない部分)は「空気」をシンボライズしたものだ。当社の環境問題に対する積極的な取り組みを表現しています。全体に掛かる形で8を配置。



罰則と判例

かすみがうら処分場の不法投棄:廃棄物処理法違反で6容疑者を逮捕 2009.07.16/毎日新聞

かすみがうら市の無許可産廃処分場であった不法投棄事件で、茨城・埼玉両県警合同捜査班は15日、埼玉県加須市、産廃処理会社「日本エコシティ」社長、野本重幸容疑者(43)ら6人を廃棄物処理法(再委託禁止)違反などの疑いで逮捕したと発表した。